

[HP掲載内容]

平成21年度第2回宮崎県社会教育委員会議 議事録

1 開催日時：平成21年9月4日（金）13時30分から15時30分まで

2 会 場：県庁会議室（621号室）

3 出席者：委員14名（3名欠席）

4 説明

（事務局から資料に基づいて説明する。）



注) 以下、○は委員の発言

5 協議

(1) 会議テーマ設定

議長 本日は本会議のテーマを設定していきたい。御意見をいただきたい。

- 資料に「戦略1 学校・家庭・地域が一体となった教育環境づくりの推進」とあるが、この「戦略」の意味は何か。目的を意味するものなのか。企業でもこの言葉の使い方については様々である。

→ 過去、学力低下が課題に挙がり、学力向上への手だてが多く求められた時に、教育県を進める本県として、段階的に進めるなどの思いを込めて「戦略」という言葉を使ったのだと思う。

副議長 「戦略」という言葉は県教委が使用しており、ここで言葉の意味を論議しても先に進まない。ここでは、学校、家庭、地域が一体となって取り組む体制、県民総ぐるみで取り組むという姿勢と理解したらいいのではないか。

- 約10年前に「戦略」を使うようになった。ただ、その時点で定義付けはしていなかったと思う。
- 今回、協議をし、提言をまとめることになるが、それを施策として、必ず実現していくことが、本当の意味での「戦略」であると思う。
→ 現在、教育委員会も評価システムを活用し、段階的に達成度等を評価している。
- 今回の協議も成果を出そうではないか。そのために我々社会教育委員として知恵を絞ろうではないか。
- 社会教育委員として、過去に提言作成に関わってきたが、成果は、直ぐには目に見えないものでもあると思う。しかし、やはり細かく見ていくと、その提言が生かされ、地域力として考えれば伸びている面もあるのではないか。まず、このように社会教育委員として協議していくことに大きな価値があると思う。
- 過去の提言については、なかなか一般市民まで伝わっていない状況もあるのではないか。



- 10年程前に社会教育委員として、子育て支援について提言をしたら、県の施策として実現された。
- テーマについては、事務局の提案でいいのではないかと考える。その理由として、県の社会教育委員は市町村社会教育委員と違って、県全体を見渡して意見を述べなくてはならないが、実際は、自分が関わっていること、知っていることしか発言できない。事務局案については、今、本県の社会教育にとって必要なものとして提案されているものと理解している。
- テーマはこれでいいのではないか。しかし、幼児教育の面は、事務局の提案に含まれているのか確認したい。
 - 幼児教育はもちろん含まれている。幼児教育は、特に大事な位置付けにあると考えている。
- 今、地域の教育力の低下が一番不安であると思う。幼少期に地域がどう関わるかが大切であると思う。これについては、今までにないシステムを創造していかなければならないと思っている。
- テーマはこれでいいと思うが、学校・家庭・地域の言葉が併記してあるが、それぞれの言葉の意味をきちんと整理しないといけないのではないか。
 - 地域については、学校を支援し家庭を支援するものと捉えている。しかし、事務局として整理し、提案していきたい。

議長 テーマは、事務局提案どおりでよいか。大切なのは、これからの議論の中身であると考える。
→ 一同承認



(2) 協議の進め方について

議長 昨年度は、二つのテーマがあったので、二つの部会に分かれて協議したが、今年度はどのように進めたらいいだろうか。

- 例えば二つのテーマがあれば、一般的に分科会に分かれて協議をし、その後、全体会を行うのではないか。
- 私たち以外の方々から質問されても、同じように社会教育委員として答えていけないといけないので、共通理解をしっかりとる上でも全体会一つでいいのではないかと思う。

議長 これからの会議のテーマ内容によって全体会にするか、分科会にするか決めさせていただくということでもいいか。
→ 一同承認

(まとめ)

副議長 本日の協議で、県と市町村の社会教育委員の違いについて理解が図られた。また、私たちの協議の成果としての提言は、何らかの形で生かされていることも理解できた。その意味でも私たち社会教育委員は期待されている。

今後は、昨年度の反省を生かし、言葉の一つ一つの意味をしっかりと定義し、審議していくことが必要であると思う。